

【ステップ ワゴンの想い】

変えちゃいけない。変えなきゃいけない。

1996年、Hondaが提案した
「クリエイティブ・ムーバー(生活創造車)」。
ステップ ワゴンは、その一台として家族の毎日を
楽しく広げていくクルマとして誕生しました。
取り回しのよい5ナンバーサイズに、
多人数が快適に移動できる広々とした空間。
そして、家族みんなが使いやすい機能を備え、
発売と同時に注目を集め、
ユーティリティ・ミニバンという新しいカテゴリーを確立。
子育て世代を中心にたくさんの家族に支持されました。

*

以来、ステップ ワゴンは、モデルチェンジを重ねても
「家族みんなの毎日を楽しくし、幸せをもたらすクルマであること」を
普遍の、変わらない想いとして貫いてきました。
いっぽうで、時代とともに変化する家族の在り方を見つめ、
その時々で、Honda独自の先進技術を取り入れながら、
ステップ ワゴンを進化させてきました。
5代目ステップ ワゴンは今、
変わらない想いを継承しながら、新たなステージへ。

【開発にあたって】

ステップ ワゴンに、 Hondaらしいホスピタリティを。

ステップ ワゴンは、家族のクルマとして多くの家族に愛されてきました。
5代目を開発するにあたって、まず考えたのが、
これからも家族に愛される存在であり続けるには、
どのようなクルマであるべきか、ということでした。

そこで今の家族に目を向けてみると、たとえ同居をしていなくても、
3世代で行動する機会が多いことがわかりました。
そうすると、今までは荷室スペースとして使われることが
日常的だった3列目の重要性が高まってきます。

これらの現実をふまえ、5代目ステップ ワゴンのあるべき姿として描いたのが、
高い機能性とHondaらしいホスピタリティを備えたクルマでした。

Hondaらしいホスピタリティ。

それは、使う人にラクであったり、やさしいだけでなく、
驚きやワクワクをもたらす、毎日の生活に楽しさを広げていくものです。

それをカタチにするために、パッケージやデザイン、走行性能など、
あらゆる面で、Hondaらしいホスピタリティを徹底追求し、
自由な発想や創意工夫、そして技術を注ぎ込み、
Newステップ ワゴンを完成させました。

生活に便利な道具から、様々なシーンで楽しみを広げる
暮らしのパートナーとして今、
自信をもって、Newステップ ワゴンを送り出します。

| 開発責任者 | 袴田 仁 (はかまだ ひとし)
(株) 本田技術研究所 執行役員

1982年、(株) 本田技術研究所入社。空調設計を経て99年HR-V、01年インテグラTYPE RのインテリアPLを担当。その後、08年FitのLPL代行、空調開発室MGを経て、今回5代目となるステップ ワゴンのLPLを務める。

